

令和2年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名：富山大学

代表学生：恵良杏樹

指導教員：藪谷祐介 講師

<p>研究題目 (応募部門)</p>	<p>(南砺市：地域事業者の人材確保) 地域体験型大学生インターンシッププログラムの提案 (B 部門)</p>
<p>研究概要</p>	<p>本研究の目的は南砺市への就職を目指した地域体験型大学生インターンシッププログラムを提案することである。地域体験型大学生インターンシップとは、従来の企業単体のインターンシップではなく、行政と企業が連携し、地域の魅力を体感するプログラムと企業インターンシップを組み合わせたものである。</p> <p>以下の調査を通じて提案を行う。((1)ヒヤリング、(2)アンケートとして調査方法を表記する)</p> <p>①南砺市の自治体のインターンシップに関する施策の内容、実態(1)</p> <p>②南砺市内の民間企業のインターンシップのニーズ(1) (2)</p> <p>③地方で行われている、インターンシップ実施団体の実態(1)</p> <p>④学生側のインターンシップのニーズ(1) (2)</p>

これまでの活動状況と
今後の活動予定
(300 字程度)

現在、上記の①～③の調査を行なった。①では、南砺市役所の方へアンケート調査をし、南砺市のインターンシップの実施の現状を調査した。これにより、南砺市の基本的事項をとらえることができた。②では、安達建設株式会社様など南砺市内の企業 8 社にアンケート・ヒアリング調査させていただいた。南砺市内企業のインターンシップと人材確保の現状やニーズ、考えを伺うことができた。最後に、③では、中部圏内を中心にインターンシップのコーディネートを行なう 2 団体に、zoom でヒアリング調査をさせていただいた。実際のインターンシップについて、インターンシップ運営の流れや実施による効果など、ホームページ資料では十分に把握できない事項について伺うことができた。今後は④大学生へのニーズ調査をアンケートで行ない、①～④の調査のまとめとともに企画提案のまとめを行なっていく。



図 1 安達建設株式会社様でのヒアリング



図2 安達建設株式会社様でインターンシップの見学



図3 ヒアリングへ向かう二人

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。

ヒアリング調査を行なうことができず、アンケート調査との併用で行なったり、対面ではなく、zoomでのヒアリング調査を行なうことになったりした箇所もあった。